

# 全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066 東京都新宿区市谷台町14-5 MSビル市ヶ谷台1F  
編集：常務理事会 電話03(3225)5600 FAX03(3354)0046  
URL：http://www.zennancho.or.jp e-mail：zennacho@zennancho.or.jp



このたび皆様のご要望により下記新製品を発売いたします。 全難聴 耳マーク部

## ポスター



A3サイズ 1枚80円

## カード (ホルダー付)



1枚 400円

## ステッカー (自転車・車)



6センチ×7センチ

1枚 100円

## 自転車用ステッカー



13センチ×16センチ

1枚 100円

### <ご注文>

全難聴加盟の各難聴協会に直接ご注文ください。

### <問い合わせ>

(社)全難聴 耳マーク部

## 全難聴要約筆記メーリングリストの参加募集について

全難聴 要約筆記部

議論された障害保健福祉施策の改革が、10月に「今後の障害保健福祉施策について(改革のグランドデザイン案)」の中で明らかになり、今年2月には「障害者自立支援法案」として、今国会に提出されました。

このことについては要約筆記事業も深いかわりを持ち、要約筆記サービスを受けるには応益負担がある、また、要約筆記奉仕員では十分な対応ができないなど、重大な局面を迎えることになりました。

この情勢に対し全難聴としては厳しい対応を迫られています、こうした情報をメーリングリスト(以下ML)に参加の会員と共有化し、いち早く伝えたいと思います。これを機会に要約筆記事業について強い関心をもっていただければ幸いです。

### 1. 目的

- (1) 国の障害者施策等に関する情報をわかりやすく伝える。
- (2) パソコン、手書きに関わらず、要約筆記に対して認識を高めるとともに、要約筆記のあり方から要約筆記を利用している現場での課題や要約筆記運動の進め方についての情報交換の場とする。
- (3) 要約筆記利用者・講師の要約筆記に関する理解、考え方を整理していく場とする。
- (4) 地域ごとの要約筆記者養成、派遣、設置等に関する情報・意見交換の場とする。
- (5) 要約筆記に関する問題があれば、必要に応じて全要研の協力を得る。

### 2. ML参加者条件

- (1) 要約筆記利用者であること。
- (2) 全難聴会員であること。
- (3) フルネーム、協会名を記載してから発言する。(匿名、ハンドル名は不可)
- (4) 健聴者は原則としてお断りする。

### 3. 全難聴会員希望者登録と確認について。

- (1) 全難聴会員で全難聴要約筆記MLに登録を希望する者は氏名、ふりがな、所属協会名、登録Eメールアドレスの4項目を全難聴事務局(後述)に申し込む。
- (2) 全難聴会員資格の確認は、全難聴事務局が直接各協会に確認する。確認したのちに会員のメールアドレスを登録する。
- (3) 参加者の定期的なチェックは毎年1回、9月頃。

### 4. 新ML会員募集方法

全難聴HPと機関誌「難聴者の明日」等にて募集。

### 5. 全難聴要約筆記MLアドレスと管理者(後述)

### 6. その他

全難聴要約筆記MLの目的に沿っていけば、自由に発言できるものとする。

目的に反した発言が続く場合は、要約筆記部長が注意を促し、その上で、その発言者をメンバーから除くこととする。

#### 3 - (1)

申込先アドレス：  
[zennancho@zennancho.or.jp](mailto:zennancho@zennancho.or.jp)

#### 5 ;

投稿アドレス：  
[zennanyouyaku@freeml.com](mailto:zennanyouyaku@freeml.com)  
管理者：全難聴事務局 佐藤和宏

## 第23回全国要約筆記問題研究集会in東北(仙台)開催される

6月4日から5日の2日間、全国から約620名が仙台サンプラザに集結。  
「語り合おう！杜の都で～心豊かな要約筆記者をめざして～」をテーマに全要研集会在開催されました。

## 第9回全国要約筆記研究討論集会(京都)案内

11月26日(土)～27日(日)にかけて、京都市民総合交流プラザ(京都テルサ)にて、討論集会在開催されます。7月1日付け、全要研ニュースに詳しい案内が添付されますので、各位におかれましては、所属協会事務局にお尋ね下さい。

# 国際版ペンキニュース!!!

## ～国連障害者権利条約に「文字による情報保障」の明文化を！！～

国連が制定する条約は日本の法律の上に位置する重要なものです。

国連経済社会理事会は2001年より「国連障害者権利条約」制定のための特別委員会を開催して準備を進めています。

しかし、条文には我々難聴者・中途失聴者の命でもある情報保障の中で「文字」による情報保障が未だに明文化されていません。世界にはIFHOH(国際難聴者連盟)があるが、まだ目立った動きを見せていません。

そこで、全難聴は「文字」による情報保障の明文化を世界に訴えるため、今年8月上旬に開かれる第6回特別委員会(ニューヨーク)に高岡理事長、清成常務理事、瀬谷国際部長を日本NGO代表団に加え、要約筆記者2名と共に派遣することにしました。

今回の参加で「文字」による情報保障の明文化になるかどうかはわかりませんが、これを起爆剤としてIFHOHを刺激し、かつ世界各国の関係者との連携を強め、何としてでも成し遂げる所存です。  
みなさん、応援をよろしくお願いいたします。

